

水稲用一発処理除草剤

1キロ粒剤：農林水産省登録 第24432号  
フロアブル：農林水産省登録 第24297号  
ジャンボ：農林水産省登録 第24298号



新登場

# カイシキZ

1キロ粒剤      フロアブル      ジャンボ

## みなぎる殺草力!

稲の強敵ノビエを長期間抑える!



ノビエ



イボクサ

クサネム

特殊雑草に有効!

やっかいなホタルイを強力除草!



ホタルイ

難防除雑草にも高い効果!



オモダカ



クログワイ



コウキヤガラ

無人航空機使用可 (1キロ粒剤・フロアブル)



田植同時処理が出来ます! (1キロ粒剤)



水口施用が出来ます! (フロアブル・ジャンボ)



フロアブルの水口施用

ジャンボの水口施用



AVH-301

### 3つの有効成分が問題雑草を防除する!

®は北興化学工業株式会社の登録商標



# 水稻用一発処理除草剤



1キロ粒剤 フロアブル ジャンボ

有効成分と含有量	1キロ粒剤 第24432号	フロアブル 第24297号	ジャンボ 第24298号
使用量 (/10a)	1kg	500ml	300g
イブフェンカルバゾン	2.5%	4.8%	8.3%
テフリルトリオン	2.5%	4.8%	8.3%
プロピリスルフロン	0.90%	1.75%	3.0%

## 特長

### 1 幅広いスペクトラム

ノビエなどの一年生雑草や多年生雑草に有効。抵抗性のホタルイ、コナギ、アゼナ類、特殊雑草のイボクサ、クサネムにも有効。

### 2 難防除雑草に卓効

オモダカ、クログワイ、コウキヤガラに卓越した効果を発揮します。

### 3 ノビエに対する長期残効性

イブフェンカルバゾンがノビエの発生を長期間抑えます。

### 4 水口施用可能(フロアブル・ジャンボ)

フロアブル、ジャンボともに水口施用が可能で省力化が図れます。

### 5 田植同時処理可能(1キロ粒剤)

1キロ粒剤は田植同時処理が可能です。

## 適用雑草と使用方法

薬剤名	作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	※総使用回数
<b>カイジキZ</b> 1キロ粒剤	移植水稻	一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、ヘラオモダカ、セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ	移植時 移植直後～ ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	1kg/10a	田植同時散布機で施用 湿水散布 又は無人航空機 による散布	本剤 1回
<b>カイジキZ</b> フロアブル		一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ	移植後3日～ ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	500ml/10a	原液湿水散布 水口施用 又は無人航空機 による滴下	イブフェンカルバゾン 2回 テフリルトリオン 2回 プロピリスルフロン 2回
<b>カイジキZ</b> ジャンボ		一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、ヘラオモダカ、クログワイ、コウキヤガラ		小包装(パック) 10個(300g) /10a	水口施用 又は水田に 小包装(パック)の まま投げ入れる。	

※総使用回数：収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

### 【主要雑草に対する散布適期】

薬剤名	ノビエ	イボクサ	クサネム	ホタルイ	ウリカワ	ミスガヤツリ	オモダカ	ヘラオモダカ	クログワイ	コウキヤガラ	セリ	ヒルムシロ	アオミドロ・藻類
<b>1キロ粒剤</b>													
<b>フロアブル</b>	3葉期まで	草丈 10cm以下	草丈 10cm以下	3葉期 まで	3葉期まで 草丈15cmまで	2葉期まで 草丈12cmまで	発生始期 まで	2葉期まで —	発生始期 まで	発生始期 まで	再生期 まで	発生期 まで	発生前 —
<b>ジャンボ</b>					3葉期まで 草丈15cmまで			2葉期まで					

### 【使用上の注意事項(抜粋)】

- 苗の植え付けが均一となるよう、代かき、均平化および植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- フロアブルを水口施用する場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湿水状態(湿水深3～5cm)に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないよう注意してください。
- ジャンボを水口施用する場合は、水口付近の水深を2～3cm程度に湿水した状態で、入水時に本剤を小包装(パック)のまま水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、施用後田面水が通常の湿水状態(湿水深5～6cm)に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないよう注意してください。
- 処理後、少なくとも3～4日間は通常の湿水状態を保ち、田面が露出しないように、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで静かに水を入れて水口を閉じてください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。  
①砂質土壌の水田及び漏水水田(減水深2cm/日以上)②軟弱な苗を移植した水田③極端な浅溝の水田及び浮き苗の多い水田
- 活着遅延が生じるような異常低温及び寡照条件下では、薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
- 1キロ粒剤を無人航空機で散布する場合は次の注意を守ってください。  
①散布機種種の散布基準に従って実施してください。②散布機種に適合した散布装置を使用してください。③事前に薬剤の物理性に合わせてメタリング開度を調整するとともに、水田周辺部への飛散防止のため、散布装置のインペラ(スピナ)の回転数を低速に調整してください。④散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、圃場の端から5m以上離れた位置から圃場内に散布してください。⑤水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- フロアブルを無人航空機で滴下する場合は次の注意を守ってください。  
①使用機種種の使用基準に従って実施してください。②滴下にあたっては散布装置のノズルを取り外してください。③作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行ってください。④隣接する圃場に水稻以外の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の滴下は行わないでください。⑤水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。⑥薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。⑦本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稻以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には、十分注意してください。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しないでください。
- 著しい多雨条件下では、除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。

【1キロ粒剤】ごくまれに水稻に白化症状が認められる場合があります。しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。  
【フロアブル】本剤が多量に稲体に付着した場合に、付着した葉ならびに直後に伸展してくる新葉1～2枚に白化症状が認められる場合があります。しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。なお、ノズル散布をした場合、白化症状が強く出ることがあります。  
【ジャンボ】拡散が不十分な場合などに、まれに水稻に白化症状が認められる場合があります。しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。

- 使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。●使用後の空容器・空袋などは圃場等に放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

この印刷物の記載内容は2020年10月末現在の登録内容に基づいたものです。



全農は登録商標 第4702318号



北興化学工業株式会社

〒103-8341 東京都中央区日本橋本町1-5-4